



第17回女子ハンドボールアジア選手権 戦況連絡票



開催日	2018年 11月 30日 日	金曜	試合コード	4
開催地	(都道府県名) 熊本県	会場名	山鹿市総合体育館	

結果	A	スコア				B
	IND	10	前半	37	KOR	韓国
5-17						
後半						
5-20						
第一延長前半						
—						
第一延長後半						
—						
第二延長前半						
—						
第二延長後半						
—						
7m c						
—						
—						
インド						

戦況	見出し	韓国が持ち前の技術で圧勝
	前半	<p>インドのスローオフでゲームが始まった。韓国は3-3DFでプレッシャーをかける。インドの最初の得点はNo3のカットイン。韓国は立ち上がりにシュートミス2連発。その後、ミドルで2点目。相手選手が退場し6-0DF。韓国イエローカードを受けるが速攻で反撃。多彩なDFシステムを持つ韓国は3-2-1DF。相手のミスを誘い速攻。韓国No6の7mTで得点。インドNo11のカットインで3点目。韓国は速いボール回しでシュートまでいくが、GKの好セーブで得点に繋がらない。No2カットインで久しぶりの得点。2本目の7mTをNo7が決めた。退場プレーで3本目の7mTを得るが得点できず。一方韓国のスピードについていけずイエローカードを続出。インドNo3のカットインで4点目を取るも韓国に20分過ぎスカイプレーを決められ12点目の失点。インド、セットプレーでスペースを作り左サイドより得点。前半残り5分、12-5で韓国がリード。韓国は正確なパスとスピードを生かし速攻で得点。インド2回目のチームタイムアウトを申請するがインド3人目の退場。韓国が17-5で前半を終えた。</p>
後半	<p>韓国は立ち上がり2人の退場者を出した。インドはそのすきを突き2得点。しかし韓国の右サイドNo28が三連続得点をあげ7-22。韓国はDFから速攻の展開が多くなったがインドGKの好セーブで得点につながらず。インド13分過ぎ8点目となるミドルが決まった。韓国の得点は24点。残り15分、25-8で韓国。インドのプレーヤーの足が止まり攻め倦んでいた。この時間帯からは韓国の速攻の嵐で得点を重ねた。23分過ぎポストプレーで7mTを取り得点。インドはたまたま3回目のチームタイムアウトを申請。インドは11分間無得点で厳しい展開が続くが左サイドから得点。インド9点目はミドル。終わってみれば37-10と攻守にわたって韓国の圧勝であった。</p>	

戦況報告書作成者	牧 均
----------	-----

=IND vs KOR=

The "Asian Queen" Team Korea led by the head coach Mr. Kang Jaewon played first match against Team India. Although the starting members were not playing most of 60 minutes, they finished 60 minutes with final score 37-10 (Half time 17-5). Their players Shin Eunjoo, Park Jiwon and Yu Sojeong were most leading scorers in this game with 7 goals.

Team India couldn't get through Korean flat but very fast 6:0 aggressive defenses, caused a lot of mistakes which turned to opponents' fast breaks. India's goal keeper Pathak Mnjula brilliantly saved her team from some of Korean's counter attacking in the first and second half, but it was not good enough to level the queen.